



木之下晃 企画展「青春の音楽-PMF」
音楽写真家として長年にわたりPMFを撮り続けてきた木之下晃氏の企画展を、東京(Bunkamuraギャラリー)、札幌(道新ギャラリー)にて開催しました。会場では、歴代アーティストやピクニックコンサートの風景など100点以上の写真を展示し、PMFの魅力を紹介しました。



教育セミナー

音楽教育に携わる方約40人を対象に、7月27日から29日の3日間、教育セミナーを開催。「PMF教授陣デイヴィッド・ハーバートの音楽教室」では、地元小学生がパーカッションの演奏法について楽しく学びました。

演奏会アンケートより

- ムーティさんの指揮って本当に美しい！オーケストラのメンバーが、緊張している風でもなく、びんと張りつめて集中しているのがよかったです。
(7月9日 PMFオーケストラ演奏会)
- 演奏者を身近に感じながら聴くことができた。それぞれの楽器の音色が現れては消え、重なってゆく…室内楽にはオーケストラとは別の醍醐味がある。
(7月16日 PMFウィーン・アンサンブル演奏会(東京))
- もう出会うことはないかもしれない名曲ばかりで、この場にいられたことを本当に幸せに思います。アンサンブルの素晴らしさを教えてくれたことに感謝！
(7月27日 PMFインターナショナル・プリンシパルズ演奏会)

PMFおにぎりBOX

PMFの野外コンサートをピクニック気分楽しんでもらいたいということで、北海道じゃらん・札幌駅立売商会・PMFの共同プロデュースで「PMFおにぎりBOX」を販売しました。北海道産の素材で作られたランチBOXで、毎回完売となり大好評でした。



プレゼント

PMF2007「オリジナルTシャツ」「パーカー」「2008カレンダー」プレゼント!!



- ①PMF2007オリジナルTシャツ(白または黒1着)
 - ②PMF2007オリジナルパーカー(白または紺1着)
 - ③2008PMFオリジナルカレンダー(※写真は2007)
- のいずれかを①各色5名②各色3名③10名の方に差し上げます。

ご希望の方は、官製ハガキに郵便番号、住所、氏名、電話番号、ご希望の品、ご希望の色・サイズ【S・M・L・XL】、PMFへのメッセージをご記入のうえ、下記までご応募ください。

〒060-0052 札幌市中央区南2条東1丁目1-14 住友生命札幌中央ビル1階

(財)PMF組織委員会「PMFニュース・プレゼント係」
10月12日(金)消印有効。なお、当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。(①②10月③12月を予定)
※ご応募いただいたハガキはプレゼントの抽選にのみ使用し、抽選終了後破棄いたします。

PMF2008にもご期待ください!

お問い合わせ・発行

(財)パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会

〒060-0052 札幌市中央区南2条東1丁目1-14 住友生命札幌中央ビル1階
TEL. 011-242-2211 FAX. 011-242-1687 E-mail: webmaster@pmf.jp

<http://www.pmf.or.jp>

<私たちはPMFを応援しています。>

NOMURA Panasonic JAL TOYOTA

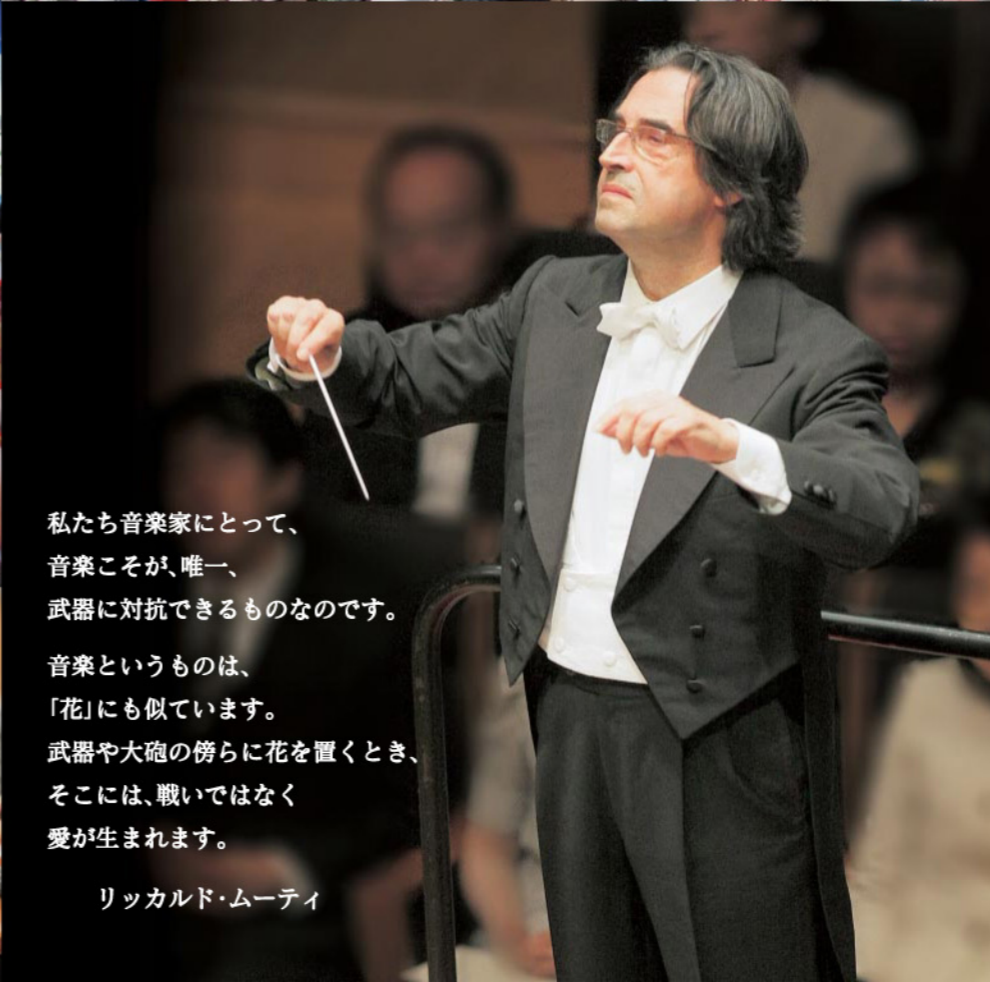
- 主催:(財)パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会
- 支援:文化庁 ■助成:北海道/札幌市/野村国際文化財団
- グランドパートナーズ(特別支援企業):野村グループ/松下電器産業(株)/日本航空/トヨタ自動車(株)
- 特別後援:(株)北海道新聞社/(株)日本経済新聞社
- 協賛:北海道電力(株)/(株)北洋銀行/ホクレン農業協同組合連合会/サッポロビール(株)/東日本電信電話(株)/(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ北海道/(株)北海道銀行/札幌商工会議所/(株)アンカー/(株)JTB北海道/(株)札幌銀行
- 特別協力:ヤマハ(株) ■協力:北海道旅客鉄道(株)/つばめ自動車(株) ■施設協力:(財)札幌市芸術文化財団



Pacific Music Festival

PMF NEWS

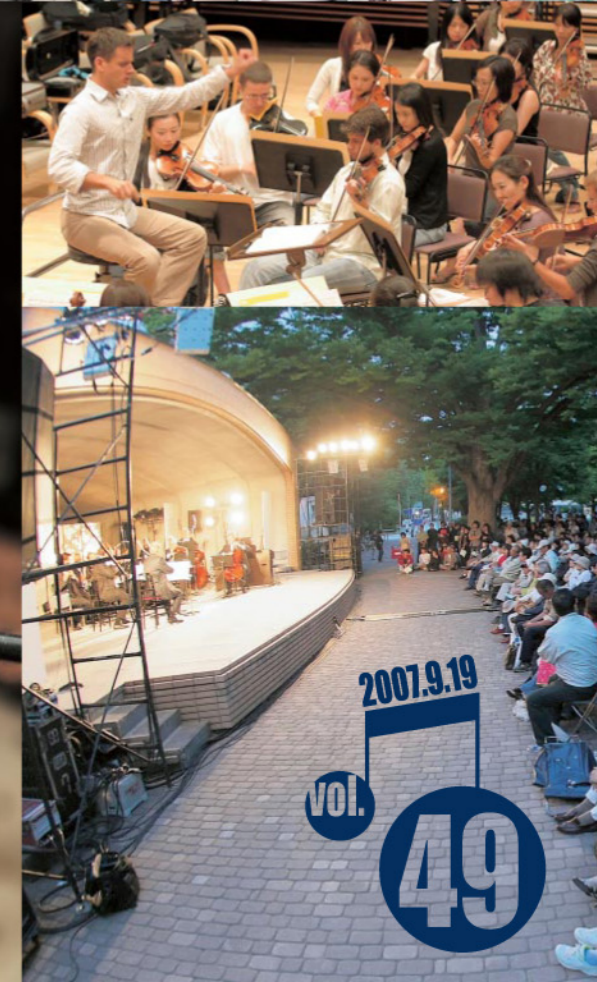
2007 Sapporo



私たち音楽家にとって、音楽こそが、唯一、武器に対抗できるものなのです。音楽というものは、「花」にも似ています。武器や大砲の傍らに花を置くとき、そこには、戦いではなく愛が生まれます。

リカルド・ムーティ

青空に響く音のうつくしき。



2007.9.19
vol. 49

PMF 2007 Reports

初夏の街にあふれるさわやかな音色…いま札幌の夏の風物詩となったPMFは、今年で18回目を迎えました。世界中から集まった若手音楽家たちが注いだ音楽への思いは、演奏という形で、期間中過去最多、50,447人の観客を魅了しました。感動の26日間を写真とともに振り返ります。



7月9日 札幌コンサートホール



PMF2007 開会式・記念演奏

(7月7日 札幌芸術の森・野外ステージ)

抜けるような青空の下、ファンファーレとともに始まったPMF2007。首席指揮者リッカルド・ムーティは、壇上から音楽と平和について語りかけました。



首席指揮者
リッカルド・ムーティ



PMFオーケストラ演奏会 (7月9, 10, 11日)

ムーティはまさに巨匠の風格。アカデミー生に向けられた厳しくも温かいまなざしは、オーケストラ全体を心地良い緊張感でまとめあげました。札幌、東京で計3回行われた演奏会では、躍動感あふれる名演に、熱のこもった拍手が贈られました。



7月11日 オーチャードホール (東京)



8月1日 ザ・シンフォニーホール (大阪)



心地良い躍動で感じる、
音楽の楽しさ。

7月10日 札幌コンサートホール

PMFオーケストラ演奏会 (7月28, 29, 31日, 8月1日)

客演指揮者アンドレイ・ボレイコは、PMFオーケストラからロシアの作曲家の魅力を存分に引き出しました。ラフマニノフの「ピアノ協奏曲第3番」ではピアノのボリス・ベレゾフスキーが快演。名古屋、大阪を含む計4公演はいずれも印象深いものとなりました。

初夏の新緑がうつくしい札幌で、若葉の旋律が響いた。
さわやかな音楽がくれた、色とりどりの贈り物。



大通公園コンサート

(7月8日 大通公園西6丁目)

ウィーン・フィルのメンバーによる演奏をより身近に感じられる、毎年好評のコンサート。夕暮れのひとつとき、約3,800人が「ウィーンの音色」に酔いしれました。



アウトリーチ・コンサート

(7月14日 モエレ沼公園 ガラスのピラミッド)

今年も入場無料のミニコンサートを多数開催。北海道立近代美術館、札幌時計台のほか、札幌市役所ロビーでは3日連続で「PMFアラカルトコンサート」を開催しました。



PMFアンサンブル・サンデー

(7月15日 札幌芸術の森・野外ステージ)

新企画として話題を呼んだマラソンコンサート。司会の軽妙なトークのもと、黒シャツのアカデミー生と白シャツの札幌交響楽団メンバーが共演し、和やかな雰囲気での演奏会となりました。



魅惑の室内楽 ~フィリップ・ジョルダンとPMFの名手たち~ (7月20日 苫小牧市民会館)

ピアノの名手でもある客演指揮者フィリップ・ジョルダンとPMFウィーン、PMFベルリンとの共演が実現。このような演奏会もPMFならではの。



フィルハーモニア台湾演奏会 (7月25日 札幌コンサートホール)

レジデント・コンダクターとして長くアカデミー生を指導してきたウェンピン・チエンが、初来日のフィルハーモニア台湾とともに札幌に帰ってきました。躍動感のあるダイナミックな指揮は健在です。ジョセフ・リンのヴァイオリン独奏も秀逸。



ピクニックコンサート

(7月29日 札幌芸術の森・野外ステージ)

今年の野外公演はすべて晴天に恵まれ、この日も絶好の「ピクニック」日和。延べ7,200人の観客が自由に演奏会を楽しみました。最後はPMFオーケストラに盛大な拍手が贈られ、札幌での公演が締めくくられました。

若々しい才能たちは、さまざまな分野で育まれます。



コンポジションコース

若手作曲家の育成を目指すコンポジションコース。今年もオーストリアの作曲家ヘルベルト・ヴェリを教授に迎えました。「静寂の中から音が生まれる」と話すヴェリ。アカデミー生が得たものは大きかったようです。



弦楽四重奏コース

室内楽の中でも根強いファンを持つ弦楽四重奏コースは、東京クワルテットによる熱意あふれる指導を受け、札幌、函館で計4公演を開催。会場は優雅な音色に包まれました。

Academy's Voice アカデミー生の声

- ムーティの演奏はとても刺激的でした。あのようなカリスマと経験を兼ね備えた指揮者との演奏は、普段なら決して体験できません。また、すべて吸収したいという同世代の仲間たちの意欲もひしひしと感じました。(オーケストラコース)
- とてもすばらしい時間を過ごすことができました。十分なレッスン時間が割り振られており、また教授と一緒に食事をすることは多く、食べながら色々と話し合うことができたのもよかったです。(コンポジションコース)